

Information

外交史料館半世紀の歩みを所蔵史料から振り返る

特別展示「外交史料館五十年」

1971（昭和 46）年、外交記録の保存管理、公開、編さん等を目的として開館した外務省外交史料館は、我が国公文書公開のパイオニア的存在として 4 月に 50 周年を迎えた。開館以前から現在に至るまでの外務省の公文書管理や公開に関する歴史や制度、そして外交史料館の歩みや活動を、所蔵史料から振り返る。

会期：7 月 9 日（金）まで（注意・現在、緊急事態宣言により休館中です。

再開の情報は外交史料館ホームページなどでご確認ください）

会場：外交史料館別館展示室（東京都港区麻布台1-5-3）

03-3585-4511

入場無料

開館時間：10:00～17:30

（同時入室は最大 15 人まで。土・日・祝日を除く）

外交史料館ホームページ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/index.html>



日英修好通商条約（1858年）の
調印書・貿易章程（重要文化財）



『結婚しない、できない私』（日本初公開）
アジアンドキュメンタリーズ配信作品

動画配信でアジアのドキュメンタリーを
——中国「剩女」事情からみる結婚

結婚しない、できない私

監督：シェシュ・シャラム、ハイラ・メダリア（イスラエル）
配給：アジアンドキュメンタリーズ（動画配信）

中国では結婚年齢の男性が女性よりも3000万人も多く、「剩男」といわれる社会問題になっている。一方で、27歳になっても結婚できない女性は「剩女」（シェンニユイ）と呼ばれる。カメラは、大学を卒業して弁護士、アナウンサー、大学准教授として活躍するいわゆる「キャリア女性」を追い、「結婚とは何なのか」を問いかける。イスラエルのドキュメンタリー監督2人の作品が、動画配信で公開された。

視聴方法

アジアンドキュメンタリーズは、優れたアジアのドキュメンタリーを配信し、アジアでドキュメンタリー制作者ネットワークの構築をめざす映像配信会社。ホームページ（<https://asiandocs.co.jp>）から会員登録（無料）後、動画配信で鑑賞できる。作品1本ごとの視聴（495円）と月額見放題（990円）などのメニューが選べる（クレジットカード決済）。